

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 9 月 3 日 (2009.9.3)

【公開番号】特開 2007-274663 (P2007-274663A)

【公開日】平成 19 年 10 月 18 日 (2007.10.18)

【年通号数】公開・登録公報 2007-040

【出願番号】特願 2006-198709 (P2006-198709)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

G 0 3 B 11/00 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 E

G 0 3 B 17/02

G 0 3 B 11/00

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 7 月 15 日 (2009.7.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体像を光電変換する撮像素子を有する撮像装置であって、  
前記撮像素子の被写体に近い側に配置された光学素子と、  
前記光学素子の表面に付着した異物を除去する異物除去手段と、  
前記撮像装置の電源を ON 及び OFF する指示を行う指示手段と、  
前記指示手段による前記撮像装置の電源を OFF する指示に応じて前記異物除去手段に  
異物除去動作を行わせる制御手段と、  
を具備することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記撮像装置の電源を OFF する指示とは、前記撮像装置の電源スイッチが OFF され  
たときに前記指示手段より出力される指示であることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像  
装置。

【請求項 3】

前記撮像装置の電源を OFF する指示とは、前記撮像装置をスリープ状態に移行させる  
ときに前記指示手段より出力される指示であることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像  
装置。

【請求項 4】

前記異物除去手段は、前記光学素子を振動させる加振手段を備えることを特徴とする請  
求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記異物除去手段は、前記光学素子の表面を払拭する払拭手段を備えることを特徴とす  
る請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記異物除去手段は、前記光学素子の表面を静電吸引する静電吸引手段を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】撮像装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】